

ひみのふくし

10

2022 Oct
No.410


企画・発行

社会福祉法人 氷見市社会福祉協議会

〒935-0025 富山県氷見市鞍川975

TEL 0766-74-8407

<http://www.himi-shakyo.jp>

 この広報誌は皆さんからの会費、
共同募金の助成金により発行
されています。



コロナ禍でも
大切にしたい「体験」

親子でキス釣りに挑戦したよ!

♡CONTENTS♡

- ◆ 防災から地域の福祉力を高める ～宇波地区の取り組み～ …2ページ
- ◆ 「地域共生社会」の実現を目指して
- ◆ 第4次氷見市地域福祉計画、
氷見市社協地域福祉推進計画がスタートしました …3ページ
- ◆ 赤い羽根共同募金運動が始まります!
- ◆ 各種お知らせ …4ページ

防災から地域の福祉力を高める

～ 宇波地区の取り組み ～

宇波地区ではケアネット活動やいのちのバトン、福祉・防災マップの作成に地区全体で取り組んで来ました。

昨年度は富山大学 井ノ口准教授の協力のもと、「地域の避難力を知る」アンケート調査を、宇波地区507世帯を対象に実施しました。

取り組みを実施した地区役員の思いを伺いました。

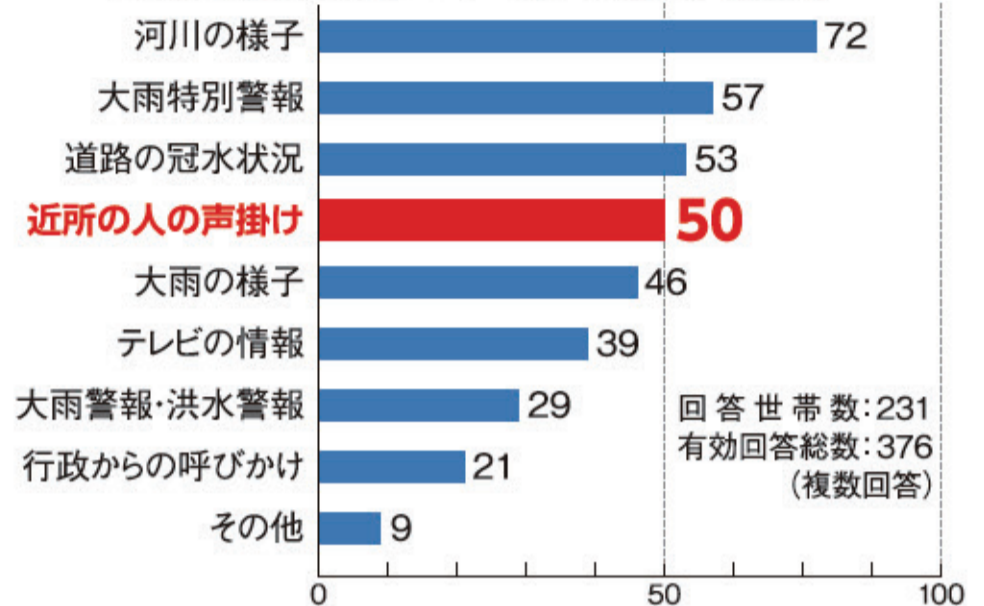


地区社協会長
浜野 成夫さん

アンケート調査の結果からも地域での声掛けが重要だと改めて感じました。自治会と民生委員協議会、地区社協が一体となって住民の避難を支援することが大切だと思います。宇波地区はもとも地域の仲間意識も高いので、防災と福祉の取り組みにも活かしたいです。

何をきっかけに避難をしますか？(洪水)

「地域の避難力を知る」アンケート調査の結果(一部抜粋)

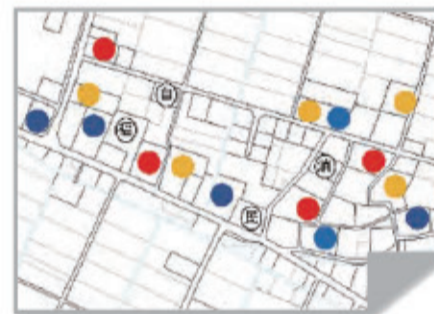


9月4日に実施された氷見市総合防災訓練では、要支援者リストを基に、サポートが必要な方の避難訓練を実施しました。当日は、219名が参加し、役員からは「避難所での車椅子の設置や物品の把握が大切だと実際にやってみて分かった」との声が聞かれました。

災害はいつ起こるか分かりません。自分の住む地域にも災害が来ることを想定し避難経路の確認や非常持ち出し品を備えて頂きたいと思います。



防災士
萩野 直樹さん
(地区社協事務局長)



福祉・防災マップ(イメージ)



福祉・防災マップ更新作業の様子

宇波地区のことは自分たち(地域住民)で守っていくことが大切であると思っています。

今回のような防災訓練や会合等を繰り返していく中で、気づいた点を次に生かしながら地域の意識を少しずつ高めていきたいです。



宇波地区
自治振興会長
澤田 邦夫さん



車椅子での避難の様子



富山大学
井ノ口 宗成 准教授

日常を支える福祉活動と防災活動が連動することで期待されること

皆さんは日常の福祉活動の中で、地域の方々の実状を知りながら人と人とのつながりを大切にされていることでしょう。いざというとき、そのような情報やつながりが効果を発揮します。災害が差し迫っても、ついつい「まだ大丈夫」と思いがちです。「この人が言うなら早めに避難しよう」という気持ちになれるよう、普段からお互いを信頼し、顔の見える関係を維持してほしいと思います。福祉・防災マップの更新作業は、その機会になるでしょう。

「地域共生社会」の実現を目指して

氷見市における「地域共生社会」の実現を目指した機能や取り組みなどをシリーズで紹介いたします。今回は「包括的支援体制づくりのポイント」について紹介します。

地域と行政、福祉専門職をつなぐ機能

地域共生社会の実現には、誰もが人や地域とのつながりを持ち、孤立しない(させない)地域をつくるために、地域や専門機関、行政が協働することが大切です。今回は、ふくし相談サポートセンターに配置しているアウトリーチ支援員を紹介します。

生活の困りごとを抱えていながらも、地域における支援や関わりから距離をとる方がいます。また、1つの世帯の中で生活の困りごとが複数あり、どこへ相談に行けばよいか分からないこともあります。このようなときの相談を受け止め、対応する機関として、ふくし相談サポートセンター(サポセン)があります。

サポセンには、「アウトリーチ支援員(訪問支援員)」が配置され、困りごとを抱えている本人や世帯を訪問

し、相談に応じています。

アウトリーチ支援員は、本人・家族の話を伺うなかで、困りごとの解決・改善につながる支援や福祉制度の情報提供を行うなど、本人や家族に寄り添い、安心して生活が送れるよう支援を行っています。

今回は、本人や世帯を支えるための、多職種連携について紹介します。

アウトリーチ支援員が大切にしていること

本人に寄り添い、一人ひとりに合わせたペースを大切に、信頼関係を築いていきます

本人が必要とする情報や支援(サービス)を届けます。



本人に会えない場合でも、家庭訪問や家族との話を伺うことからつながるきっかけづくりを行います

あなたの気持ちを聞かせてください

第4次氷見市地域福祉計画・氷見市社協地域福祉推進計画がスタートしました

令和4年度～令和8年度の氷見市の地域福祉を推進し、地域共生社会を実現するための2つの計画がスタートしました。

計画の策定にあたり、氷見市の福祉課題の解決に向け、民生委員やボランティア、福祉事業所、住民の代表等、様々な方と議論を重ね推進施策を定めました。

氷見市地域福祉計画とは

氷見市の福祉施策の全体の方向性を定めた行政計画です。

氷見市社協地域福祉推進計画とは

地域福祉計画に定められた施策を市社協がどのように推進するかをまとめた計画です。

目指す福祉社会像

認め合い 支え合い 絆が深まるまち ひみ

重点施策

- 1 包括的支援体制の充実と地域生活課題への支援づくり
- 2 災害時福祉環境の充実
- 3 住民主体の地域福祉活動の発展と持続可能な体制づくり
- 4 時代を担う福祉人材の育成と確保

※各計画の詳細は、氷見市役所 及び 市社協のホームページからもご覧いただけます。





赤い羽根共同募金運動が始まります!



みなさんの募金が市内の 様々な福祉活動に役立てられます

今年も10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まります。
各世帯や学校、街頭等で募金を行い、募金の約7割は市内の団体の活動に充てられます。
また、残りの約3割は市を越え広域で行われる活動や近年頻発する自然災害の被災者支援
のために使われます。昨年度の氷見市での募金総額は**5,674,670円**でした。
今年もみなさんのご理解とご協力をお願いします。

今年の募金は、来年度実施される下記の事業に配分されます

団体名	募金の配分で行う活動(予定)
とやま食育ラボ	家族のための体にやさしい野菜の自然栽培と地産地消教室
ひみ子育てネットワーク会議	地区子育てサークルへの講師派遣事業、クリスマス会
氷見市更生保護女性会	更生保護施設入所者への食事支援、少年院、刑務所等の訪問
氷見市ことばの教室親の会	ことばの教室を利用する幼児を対象とした親子の集い
氷見市児童クラブ連盟	児童クラブ卓球大会、ひみっ子ふれあいキャンプ
氷見市社会福祉協議会	広報紙「ひみのふくし」の発行、こどもの体験教室、外出支援活動
氷見市身体障害者協会	協会視覚部とボランティアの交流会、障害者と介護者の研修会等
氷見市手をつなぐ育成会	知的障害者の自立支援、ボランティアとの交流事業
氷見市母子寡婦福祉連合会	ひとり親世帯の親子のふれあいを深める体験活動
氷見市民生委員児童委員協議会	民生委員児童委員、主任児童委員の研修会
氷見ベジ	子育て世帯を対象に氷見ベジ(有機無農薬栽培野菜)を活用した体験活動
氷見保護司会	街頭広報活動、学校での犯罪予防啓発活動



昨年度の配分事業の様子
(ひみ子育てネットワーク会議の講師派遣事業)

募金の方法

- 自治会等を通じた各世帯での募金
 - 小・中学校で配布される募金箱や高校・保育園の募金箱
 - 市民病院及び一部の開業医、商業施設、公共施設等の募金箱
 - 企業での募金
 - 街頭募金
 - 共同募金委員会への振込み など
- ※共同募金への寄付は税制の優遇が受けられます。

Information

氷見市共同募金委員会(総務・企画課内)
〒935-0025 氷見市鞍川975
(氷見市社会福祉会館内)
TEL:74-8407 FAX:74-8409

義援金受付のお知らせ

赤い羽根共同募金では、国内各地で発生した豪雨災害への義援金を受け付けています。
義援金の持参または振込みで寄付できます。詳しくはホームページ又は氷見市共同募金委員会までお問い合わせください。

家族の介護をしているみなさんへ 耳寄り情報!

ホッとおしゃべりサロンに 来ませんか?

現在介護をしている皆さんのための「ホッとおしゃべりサロン」を毎月開催しています。介護経験のあるボランティアがゆっくりと話をうかがいます。シーツ交換のコツや上手なりフレッシュ方法など、どんな話題でもOK! 介護を受けているご家族や、お子さんを連れての参加も大歓迎です! ぜひお気軽にお越しください。

開催日時・場所

10月21日(金)・11月18日(金)・12月16日(金)
1月20日(金)・2月17日(金)・3月17日(金)

- 午前の部 10:30~11:30
ウエルシア氷見窪店 店内ウエルカフェ(窪543-1)
 - 午後の部 14:00~15:00
氷見市いきいき元気館 ボランティアワークルーム
- ※コロナウイルス感染状況により、中止になる場合があります

Information 氷見市ボランティア総合センター

〒935-0011 氷見市中央町12-21(氷見市いきいき元気館内)
TEL:74-1800 FAX:74-8055 受付時間 8:30~22:00



ご寄付をありがとうございます

令和4年8月1日~31日受入分(敬称略・受付順)
紙上を借りて厚くお礼申し上げます。

- 【福祉基金】 匿名 7,000円
- 【善意銀行】 匿名 20,000円
- 【ボランティア寄付金】 匿名 25,100円

地域福祉の推進に活用させていただきます



今月の表紙レビュー

地域探検釣り教室(氷見市児童館) 「親子でキス釣りに挑戦したよ!」



氷見の自然を活用した体験活動を提供し、地元の良さを実感してもらうことを目的に実施している氷見市児童館の釣り教室。
初めて釣りをする親子、仕掛けに餌を付けるのも、魚を触るのも嫌だった子どもたち。協力して釣りをする中で、それが自然とできるようになっていきました。